

市議会だより

9月定例会

令和5(’23)年11月1日発行



ウクレレエコース (第23回桶川文化フェスティバル)
今年は、子供たちのダンスと共演

主な内容

- ◎9月定例会
議案審議 (決算審議等)
と採決結果
2～4ページ
- ◎一般質問 (16人)
4～12ページ
- ◎委員会の委員長報告
12～13ページ
- ◎議会からのお知らせ
編集後記ほか
14ページ

◆ 9月定例会日程 ◆

- 9月 1日 開会、市長の行政報告、委員会の委員長報告、市長提出議案の上程及び説明、市長提出議案の質疑及び委員会付託、市長提出議案の質疑・討論及び表決
- 6日 一般会計歳入決算質疑
- 7,8日 総務常任委員会
- 11,12,13日 民生経済常任委員会
- 14,15日 建設文教常任委員会
- 19日 一般質問 (山中・渡邊・砂川・岡安)
- 20日 一般質問 (相馬・仲又・坂本・岡野・こいつま)
市長追加提出議案の上程及び説明
- 21日 一般質問 (糸井・星野・加藤・浦田・北村)
- 22日 一般質問 (新島・佐藤)
- 27日 市長提出議案の委員長報告・質疑・討論及び表決、委員会 (所管事務調査)の委員長報告、市長提出議案 (決算の認定について)の総括質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の質疑・討論及び表決、市長追加提出議案の上程及び表決、委員会 (議員)提出議案の上程及び表決、閉会

9月定例会 議案審議

令和5年9月定例会は、9月1日から9月27日まで27日間開催されました。
今定例会では、市長提出議案17件、委員会（議員）提出議案1件が提案され、審議されました。

令和4年度一般会計・特別会計・事業会計歳入歳出決算 について、認定となりました

一般会計から特別会計、事業会計の歳入歳出決算の認定にあたり、総務・民生経済・建設文教の各常任委員会が、合計7日間にわたりそれぞれの所管事務について慎重審議を行い、執行部に対し次の14項目について指摘しました。なお、その経過及び結果は定例会最終日に報告され、反対討論がありましたが、採決の結果認定となりました。

総務常任委員会からの指摘・要望事項

- 指定管理者については、直接市民生活に直結して桶川の文化・スポーツの発展に影響するので、その効果等を十分に把握すること。また、多様な意見や幅広い見識の元に審議が可能になるよう委員の増員を求めるとともに、指定管理者の事業（催事等）の案内等、広く市民が関心を持てるよう、周知の拡充を求める。
- 桶川市職員の待遇等で市民から賞賛の声を聞く。ただ、その一方で職員の時間外勤務が急増している課や、長期休暇が続いている職員が在籍する課などの改善が必要であり、職場の適正配置や増員を図ることを求める。また、心因的疾患者が年々増加しており、健康管理を含めた職場環境の改善や、職員のやる気、向上心に向けて市長以下職場の風通しの良い組織づくりに努力されたい。
- 男女共同参画事業に対する予算や事業については、女性活躍社会に実質的効果を上げるために、取り組む事業を増やし、予算化すること。
- かねてから防災会議委員の構成については、女性の人数が少ないと指摘したが、現在も見直されず女性は1人のままである。防災は、女性の役割が重要と考える。よって、特に子育て支援、健康、障害福祉、介護等、精査できる女性の委員を3割程度まで増やすよう求める。

民生経済常任委員会からの指摘・要望事項

- 民生委員自体も高齢化し、なりて不足はこれからも課題の一つと捉えている。業務の負担を軽減するとともに、役割や活動などの認知度を上げる取組と、課題に対して、福祉の総合相談への引継ぎ等、行政との連携を強化するよう求める。
- 保育所入所のミスマッチが依然として多いように見受けられる。各施設の周知の徹底や先進事例の調査研究に、より一層努めるべきである。
- 桶川市のシンボルである紅花が育成しやすい環境作りと育成者の養成を継続的に行うこと。
- 今後も申請の増加が予想される介護認定に対し、申請に早期対応が出来るように備えること。《特別会計》
- 緊急通報システムについて、市内の高齢者独居世帯も今後増える傾向にあると思われる。緊急時、速やかな救急支援につなげるためにも、対象者へのご案内や設置への対応を速やかに進めていただくよう、要望する。《特別会計》
- 今後2040年まで、高齢者の人数が増え、医療費が増加すると思われる。本市はかかりつけ医が多いこともあり、早期発見、早期治療をして、医療費の抑制に努めること。《特別会計》

議案審議

建設文教常任委員会からの指摘・要望事項

- 桶川駅東口整備にあたっては、地権者に寄り添いながら、残りわずかになった買収を進めるとともに、できることから着手して早期の実現を目指すことを求める。また、南小跡地を含めた市有地の活用案を早期に検討し公表することを求める。
- 学校、教育相談センターにおいて、児童生徒や教員、保護者の相談業務を行う職員の勤務体制を強化し、時間をかけて十分に相談に乗れるようにしていただきたい。また、いじめについては、過去の事例を分析し原因を究明してこれからのいじめ根絶に役立てるとともに、いじめが発生しないよう細心の注意を払うことを求める。
- 学校給食業務において、未納者が発生しない納付方法や、牛乳に代わる栄養補給ができる食材の検討を求める。
- 公共下水道事業は、下水道管の布設開始から、まもなく順次標準的な耐用年数の経過を迎えることになる。下水道機能の長寿命化に向け、予算の平準化を図りながら、日常生活の維持に向けて、計画的な点検・調査を行い、優先順位を定め、改築を行うよう求める。また、公共下水道事業会計の健全化に向け、持続的かつ安定的な事業の運営を行うよう求める。
《事業会計（下水道）》

条例等

各常任委員会に付託された条例等の審査が行われました。主な質疑は次のとおりです。

工事請負契約の締結について（議会の議決に付すべき契約）

《いずみの学園

新築建築工事》

【契約金額】2億8,567万円

問 新旧施設の変更点について伺う。

答 キャンピアー、駐輪場には屋根を設

け、自転車で来る方に対応できるようにします。

また、園舎には、玄関ホールに交流スペースを新たに設け、検査訓練用指導室と静養室を防音機能、構造にしています。

施設全体に温かみが出るように埼玉県産木材を使用し、木質化を図ります。トイレは、多機能トイレとし、オストメイト、ペーパーチェア、ユニバーサルシートの設置を予定しています。

補正予算

主な質疑は次のとおりです。

〔一般会計第3回〕
《学校給食費助成金》

228万円8,000円

私立小中学校に通学する児童・生徒等に対して給食費の一部を助成するための経費

問 助成金の仕組みについて伺う。

答 6月の補正予算では、市内の公立

小中学校に通学する児童生徒については、学校給食費の半額の支援を行いました。

今回は、市外の私立等の小中学校に通学する児童生徒に対して、同額の支援をします。

問 対象者に案内等

答 はあるのか。個別に通知を出す予定です。その

中で、申請があった方に対して支給します。

委員会（議員）提出議案

議会は、1件の意見書を可決し、関係機関に提出しました。（要約）

アスベスト対策の拡充を求める意見書

2021年にアスベスト関連法（大気汚染防止法・石綿障害予防規則）が改正され、解体改修時にアスベスト含有建材の事前調査が義務化となり、一定規模以上の工事では、事前調査結果の報告も義務化されました。国は規制の強化を打ち出していますが、未だ、吹付アスベストを含めた飛散事件は後を絶ちません。

よって、国においては、アスベスト被害を国全体の課題と捉え、左記のとおりアスベスト対策を早急に拡充するよう強く要望する。

1 国は、国民に対し、アスベストの健康被害、アスベスト関連連法改正

を周知徹底すること。

2 石綿被害の重大性と、飛散事故が減少しない現状に鑑み、除去業者の許認可制や作業場内の徹底した測定による業務管理などを、早急に法令で義務づけること。

3 実地研修を含めた除去業者の講習制度を充実し、義務化すること。

4 国（国交省）の「住宅・建築物安全ストック形成事業」にある「住宅・建築物アスベスト改修事業」について、一般住宅にも使えるレベル3までの調査・除去費用の助成（補助）制度を拡充すること。

5 アスベスト含有建材を受け入れられる処分場を、各都道府県に確保するよう、法改正をすること。

人事関係

人権擁護委員を承認

石川 陽子 氏

採決結果／一般質問

9月定例会で審議された議案とその結果

◆ 次の議案は全会一致で可決・認定・承認されました。

議案番号	議案名
第31号	令和4年度桶川市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
第32号	令和4年度桶川市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
第34号	令和4年度桶川市公共下水道事業会計決算の認定及び剰余金の処分について
第35号	令和5年度桶川市一般会計補正予算（第3回）
第36号	令和5年度桶川市国民健康保険特別会計補正予算（第1回）
第37号	令和5年度桶川市介護保険特別会計補正予算（第1回）
第38号	令和5年度桶川市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1回）
第39号	令和5年度桶川市公共下水道事業会計補正予算（第1回）

議案番号	議案名
第40号	桶川市公民館設置及び管理条例の一部を改正する条例
第41号	工事請負契約の締結について（いずみの学園新築建築工事）
第42号	損害賠償の額を定め、和解することについて
第44号	工事請負契約の変更契約の締結について（川田谷生涯学習センター大規模改修建築工事）
第45号	工事請負契約の変更契約の締結について（川田谷生涯学習センター大規模改修電気設備工事）
諮問第3号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて（石川 陽子氏）
委第3号	アスベスト対策の拡充を求める意見書

◆ 賛否が分かれた議案は次のとおりです。

○は賛成 ×は反対 ーは棄権 ※議長は採決に加わりません

議案番号	議案名	議決結果	新 政 会				新風クラブ21			公明党		日本共産党	政和会	ともに生きる会	無党派					
			砂川和也	岡野千枝子	岡安政彦	相馬正人	糸井政樹	にいつま亮	新島光明	江森誠一	佐藤洋	岩崎隆志	保坂輝雄	仲又清美	坂本敏治	星野充生	加藤ただし	山中敏正	北村あやこ	浦田充
第30号	令和4年度桶川市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	議	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×	×	○
第33号	令和4年度桶川市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	○	○	○	○	○	○	欠席	○	○	×	×	○	○	×	×	○
第43号	設計建設工事請負契約の変更契約の締結について（桶川市道の駅設計建設工事）	可	○	○	○	○	○	○	長	○	欠席	○	○	○	○	○	○	ー	○	○

問 農地を取得する場合の「下限面積要件」は撤廃されたが、新規就農者の場合、農地法第3条の許可申請と営農計画書を提出すれば、農地の売買と空き家を一緒に購入することができるとの、伺う。

答 国土交通省で集計した全国のデータでは、令和5年2月末時点の空き家登録件数は、1,528件、このうち農地付き空き家登録件数は、540件となっております。

問 農地付き空き家の推移を伺う。

答 自治体の空き家バンクに登録された空き家と、これに付随する農地を移住者等に提供するものです。

問 環境教育と学校施設のZEB化について

答 エネルギーの使用、エネルギーの見える化・見える化」技術の仕組みや原理を「見える化・見える化」することにより、学校施設

問 教育的効果について、伺う。

答 われ方、導入した技術の仕組みや原理を「見える化・見える化」することにより、学校施設

問 「全国版空き家バンク」へ参考する考えを伺う。

答 今後、登録物件数が増えた場合に、検討します。

問 森林環境譲与税の活用として「危険木伐採補助金」の創設について、伺う。

答 森林整備の効果

問 森林環境譲与税を活用した桶川市での取組について、伺う。

答 木材利用の促進や、県産木材を使用した、公共建築物の木質化を行っています。

問 民有林の保全管理について

答 大規模改修や設備更新の際は、窓サッシの改修や照明設備のLED化、最新空調機器の導入について、検討

農地付き空き家への取組について



山中 敏正

政和会



一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

農業センター駐車場の整備や近辺公道の段差解消について



渡邊 光子

無党派



問 農業センターの階段に、手すりの設置を伺う。

答 農業センターの階段に、手すりの設置を伺う。

問 玄関前までの車イスを含む歩道の

答 玄関前までの車

問 大きく曲がっており、低い縁石の右側は、低地のため幅員の確認がしづらく危険だ。ポール等を設置して、通路の幅員が分かるようにしたらどうか。

答 農業センターの

問 外構工事は、隣接する生涯学習センターと一体的に工事を行う予定です。今年度は、設計業務を行い、令和6年度に工事を行う予定です。現街灯は、照明施設を設置する予定です。

答 新設の駐車場街灯は、東側と自転

問 安全性の確保が必要ですが、現地を確認して検討したいと思います。

答 農業センターへの公道からの入り口は急な上り坂で、くほみもあり危険だ。安全な整備を伺う。

問 道の駅整備に伴い、門扉迄の坂道と、入り口の公道は道の駅の敷地となり、道の駅指定管理者の整備で坂が少しでも緩やかな傾斜となるよう検討します。

答 周辺の公道の段差の解消を伺う。

問 石川川を横断する市道15号線は、国が整備する駐車場に一部が面し、道の駅整備にあわせて国と協議が整い、市は、設計業務を発注します。令和5年9月補正予算で道路詳細設計委託を発注、令和6年度当初予算で道路改良工事を発注します。市道15号線の石川川近辺の段差解消工事を

答 現地を確認し、利用者の利便性、

問 安全性の確保が必要ですが、現地を確認して検討したいと思います。

答 農業センターへの公道からの入り口は急な上り坂で、くほみもあり危険だ。安全な整備を伺う。

問 道の駅整備に伴い、門扉迄の坂道と、入り口の公道は道の駅の敷地となり、道の駅指定管理者の整備で坂が少しでも緩やかな傾斜となるよう検討します。

答 周辺の公道の段差の解消を伺う。

地域に根差したべに花づくりについて



砂川 和也

新政会



問 桶川市のシンボルであるべに花を支える、第二の「べに花」を考える必要性を感じている。第二の「べに花」となる特産品を育ていくことについて、見解を伺う。

答 市内に、数多くの物産品がある中で、生産者や事業者の皆様と、第二の「べに花」となるような特産品の開発、発掘ができるよう進めていきます。観光協会とも協力して、市内特産品のPRに努めていきたいと考えています。

問 高齡化社会の対応について

答 循環バス試験運行ルートの検討状況、今後の予定はどのように考えているのか、伺う。

問 各校の特徴に合わせた教育環境の充実について

答 各校の卒業生、また地域の専門的知識や技能を持った方々の知恵や力を借り、特色ある学校環境整備を進めることと、捉えています。

問 近年、市内の学校で、倒木による物損被害が発生している。人的被害が発生する前に、対策を行う必要性を感じる。

答 各学校で樹木の量や樹齢等、状況が異なるので、一律で管理をすることは難しいと思うが、見解を伺う。

問 各学校における樹木の状況の確認、定期点検を通して、伐採あるいは剪定等、計画的な実施を考えています。

答 各学校のOB、OGまたは、地域の中に様々な専門家が多数いる。そのような方々の知恵を活用して、特色ある学校環境の整備を進めてはどうか。

問 各校の特徴に合わせた教育環境の充実について

答 各校の卒業生、また地域の専門的知識や技能を持った方々の知恵や力を借り、特色ある学校環境整備を進めることと、捉えています。

問 近年、市内の学校で、倒木による物損被害が発生している。人的被害が発生する前に、対策を行う必要性を感じる。

答 各学校で樹木の量や樹齢等、状況が異なるので、一律で管理をすることは難しいと思うが、見解を伺う。

問 各校における樹木の状況の確認、定期点検を通して、伐採あるいは剪定等、計画的な実施を考えています。

答 各学校のOB、OGまたは、地域の中に様々な専門家が多数いる。そのような方々の知恵を活用して、特色ある学校環境の整備を進めてはどうか。

問 各校の特徴に合わせた教育環境の充実について

答 各校の卒業生、また地域の専門的知識や技能を持った方々の知恵や力を借り、特色ある学校環境整備を進めることと、捉えています。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

桶川市の安心安全まちづくりについて



岡安 政彦

新国会



問 まちを守る防犯カメラを、商店会

答 などが設置する場合の補助の考えについて、伺う。埼玉県が行っている「商店街等施設整備事業補助金」があります。この補助金は、商店街等が防犯カメラなどを含む施設整備をする際の経費補助を行うもので、補助上限額は100万円で、補助率は県が1/3、市も1/3となっています。

問 防犯カメラ設置の相談があった場合、補助制度の案内をしたいと思いません。

答 公用車のドライバーブレイカーの設置状況について、伺う。市では、令和5年9月1日時点で、乗用車のほか、塵芥車などの特殊車両を含め、85

台の車両を使用しています。

問 このうち、19台がドライブレコーダーを装着しており、装着率は約22%です。

答 災害時の外国人への対応について、伺う。

問 基本的には、日本人の方と同様の対応を行います。しかし、言語の問題がありますので、地域防災計画では、災害時に対応できる通訳や語学ボランティアなどの確保等に努めることとされています。

答 また、市のホームページは、多言語化しており、外国人の方も避難所情報や災害情報等取得しやすい環境にしています。

問 今年度の防災訓練について、伺う。

答 市職員や自主防災組織等が参加して実施する、地域密着型の防災訓練を予定しています。

答 令和6年1月、桶川小学校を訓練会場として、実施する予定です。

問 通学路の安全対策について伺う。

答 5年に一度行われる通学路安全総点検の際に、PTAを含む地域の方々に、通学路の危険箇所を点検してもらいます。

問 市内の小・中学校から提出された点検表は、市から北本県土整備事務所へ提出し、5か年の整備計画表を作成のうえ、国、県、市それぞれの担当部署で、通学路の危険箇所を順次整備していきます。

答 自転車講習の状況について、伺う。

問 市内全小学校では、小学校3年生を対象に、毎年交通安全教室を開催し、自転車に係る安全教育を行っています。

答 市内全小学校では、小学校3年生を対象に、毎年交通安全教室を開催し、自転車に係る安全教育を行っています。

問 市内全小学校では、小学校3年生を対象に、毎年交通安全教室を開催し、自転車に係る安全教育を行っています。

答 市内全小学校では、小学校3年生を対象に、毎年交通安全教室を開催し、自転車に係る安全教育を行っています。

サンアリーナの改修について



相馬 正人

新国会



問 サブアリーナへのエアコン設置の可能性について、伺う。

答 サブアリーナのエアコン設置については、平成26年度の改修工事で検討しましたが、屋根が特殊な形状、材質をしている点、構造上の問題等を踏まえ、設置には至りませんでした。

問 近年、夏の暑さが厳しくなる中、利用者の皆様には不快な思い、ご不便をおかけしていますので、どのような方法であれば設置が可能なのか、まずは調査します。

答 普通教室については、授業等で児童生徒が教室に在室している時間において、室内の温度等にに応じてエアコンを使用しています。

問 また、文部科学省の学校環境衛生基準では、室温を夏季においては28度以下、冬季においては18度以上になることを原則としています。

答 室温が28度以下の場合でも、湿度が高い場合には、熱中症のおそれもあることから、教室の児童生徒の状況に応じたエアコンの使用について、お願いしています。

問 授業での特別教室の稼働率はどれくらいか。

答 小学校では、授業で主に使用する音楽室、理科室、図工室、

家庭科室を対象に、稼働率を算出したところ、平均で約61%でした。

問 中学校では、授業で主に使用する音楽室、理科室、技術科で使用する木工室、金工室、家庭科で使用する被服室、調理室、美術室を対象に、稼働率を算出したところ、平均で約33%でした。

答 特別教室へのエアコンの設置について、どのように考えているか。

問 現在、特別教室では、図書室や音楽室に設置されておりますが、その他の特別教室は、設置に至っていません。

答 昨今の猛暑等の状況を鑑みますと、特別教室の空調設備の必要性については、認識しているところですが、

問 児童生徒の安全を守り、教育環境の向上を図るため、特別教室へのエアコン設置につきましても、検討したいと考えています。

答 児童生徒の安全を守り、教育環境の向上を図るため、特別教室へのエアコン設置につきましても、検討したいと考えています。

問 児童生徒の安全を守り、教育環境の向上を図るため、特別教室へのエアコン設置につきましても、検討したいと考えています。

答 児童生徒の安全を守り、教育環境の向上を図るため、特別教室へのエアコン設置につきましても、検討したいと考えています。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

子育てしやすいまちづくりについて



仲又 清美

公明党



問 産後ケアの現況と方向性は、心身に不安を抱え、家族の援助が受けられない産婦に対し、心身のケアと育児のサポートを目的とした産後ケア事業（助産師が行う訪問型、産科医療機関のデイサービス型、宿泊型）を、実施しています。

答 分庁舎跡地に建設予定の日出谷地区コミュニティ拠点内に、新たに児童館を整備する予定で検討しています。

問 市長に伺う。兄弟が就学している第2子の保育料を軽減する方向性は、

答 低年齢児の第2子保育料の軽減に

定を締結し、運行を開始しました。

問 市長の公約、デマンドタクシーは、いつ本腰を上げるのか。本腰を入れていないわけではないか。

答 市内では、高齢者の外出支援について、交通政策として導入するのか、福祉政策として導入するのか、現在、調整しています。

問 带状疱疹の助成について、市内限定の医療機関から近隣市へ拡大ができないか。

答 対象拡大については、医師会、近隣市町と意見交換をし、時期や範囲、方法について検討してまいります。

問 認知症予防のため、耳の聞こえに関する検査の導入は、

答 国の定める検査項目に聴力検査はありませんが、耳の聞こえのチェックシートを、後期高齢者の健康診査の受診券に同封し、受診を促す取組を行っています。

デジタル化の推進と個人情報保護について
1 個人情報とはどのように守られているか



坂本 敏治

日本共産党



問 デジタル化の現状について、伺う。

答 国では、各自治体が独自に採用し、運用している住民情報システムを、令和7年までに標準化し、国が構築するクラウドサービス上で運用することを目指しています。

問 市も、住民情報の標準化に向け、準備を進めています。

答 市が入手する個人情報、どのように入手しているか、守られているか、個人情報保護に関する法律に基づき、適正な管理に努めています。個人情報の秘密性や個人情報へのアクセス制限を設け、その個人情報にはアクセス

不法投棄が多発すれば、設置を検討する」と聞いています。

新型コロナウイルス感染症5類変更後の対応について

問 感染者の発生状況に関する、県から情報提供は、どの程度あるか、伺う。

答 埼玉県衛生研究所が行っている、

問 「桶川市環境美化に関する条例」の制定目的を伺う。

答 ごみ等のポイ捨て及び飼い主等のふんの放置等の防止、その他、環境美化の推進に

問 圏央道緑地帯管理者に、雑草除去の回数増や、ポイ捨てを注意喚起看板の設置を要請できないか伺う。

答 NEXCO東日本から、「随時点検を行い、対応は行っていく。注意喚起看板は、

問 感染症予防での、保健所業務と健康増進課（保健センター）の関係について、伺う。

答 県は、感染者の動向調査や感染の状況に応じた医療体制の確保、感染予防の情報発信を行います。

問 市は、県と連携し、感染予防に必要な問合せ対応、計画的にワクチン接種を進め、重篤化予防や感染拡大予防の役割があります。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

おいしい学校給食について



岡野千枝子

新政会



問 献立作りの考え方について、伺う。

答 郷土料理や季節に応じた旬の食材を取り入れながら、和食、洋食、中華などのメニューのバランスを考え、児童生徒に食の喜びや感動を与える献立を作っています。

問 市内農産物を日常、どのくらい使っているのか、伺う。

答 白米は週3回程度、桶川産を使用しています。

問 給食費について、伺う。

答 本市の状況は、小学校は平成24年から、中学校は、平成10年から給食費を上げていません。県内の市では、2番目に低いです。

問 物価高騰の影響と対策を伺う。

答 学校給食に使用する食材のほか、油、小麦粉、調味料、牛乳など、給食に欠かすことのできない物資も高騰している状況です。

今後、物価高騰の影響はさらに続く事が予想されます。

物価高騰の影響を分析して、児童生徒の健全な発達のため、栄養バランスの取れた給食を提供することが困難と予測される場合は、物価高騰対策として実施した、学校給食食材料費支援金と同様の措置を講ずるなど、必要な対策の検討をしています。

緑のまちづくり基本計画について

問 緑の保全状況について、伺う。

答 都市緑地法の規定による市民緑地制度の活用や、桶川市緑の保全及び推進に関する条例の規定による保存樹林、保存樹木の指定により、ボランティア団体と連携を図り、緑地保全に努めています。

問 ゼロカーボンシティについて伺う。

答 本市は脱炭素社会の実現に向け、限られた緑を守り、育てていく必要があり、本計画は重要な役割を担うものと、認識をしています。

脱炭素社会の推進を念頭に置き、計画を策定します。

問 計画の見直しの方向性を伺う。

答 緑化政策は、長期的な視点に立ち、実施する必要があります。前計画の計画策定の際の考え方を尊重し、地域の実情や、時代背景に合った目標や施策なども検討します。

地域経済活性化とまちづくりについて



にいつま亮

新風クラブ21



問 デジタル地域通貨と地域社会との連携が地域経済、まちづくりにもたらす効果について、市の見解を伺う。

答 まちのにぎわいづくりには、人の回遊とお金の循環が大切です。その中で、市内限定で使用できるデジタル地域通貨の活用は、一定の効果が期待できます。

また、行政ポイントとの連携は、市民の市内消費と社会活動参加を促進させると、考えます。

問 回遊性を高めるために、他市で取り組事例のある「レンタサイクル」導入を提案するが、市の見解を伺う。

答 提案の「レンタサイクル」が各地で注目されていることを

承知しています。各市の事例も参考に、効果や課題について検討します。

問 子育てしやすいまちづくりについて

答 本市は共働き世代が多いという特徴から、関連する手続きの簡素化が望まれている。子育て世帯が関わる手続きをDX化することを提案するが、市の見解を伺う。

問 窓口に来る方がいることを認識しています。引き続き、子育て世帯に係る手続きのDX化について、先進事例の情報収集に努めます。

問 安心安全な室内の遊び場創出の観点で、「移動児童館」の取組ができないか伺う。

答 移動児童館について、西側児童館建設までの子供の居場所の確保として、有効な手段です。実施の可能性について、指定管理者との協議を行ってまいります。

問 宮城県での取組に始まり、少しずつではあるが、「孫休暇」を作る自治体が増えてきた。今後、定年延長などの社会情勢を踏まえ、市役所でも、こうした取組ができないか伺う。

答 「孫休暇」について、まだまだ、先進事例は少ないです。ただ、ご指摘があった通り、職員の定年年齢が引上げになると、こうした休暇が必要な職員も、今後増えてくる可能性はあります。

導入については、社会情勢や国などの動向に加え、国や県、市の休暇に関する考え方の均衡を失わないような形で、やっていけるのかも踏まえ、動向を注視していきます。

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

一般質問

子どもの命を守ることに



糸井 政樹

新国会



問

近年、目や耳を覆いたくなるような子どもへの虐待事件が報じられているが、県の相談機関である児童相談所と教育委員会等、どのような部署が連携し、その手順はどのように行われているのか。

答

要保護児童対策地域協議会において、教育委員会では学校支援課、母子保健では健康増進課、鴻巣保健所、DVでは人権男女共同参画課、そして警察などの関連部署と連携して子育てに関わるリスクのある家庭の早期発見と早期対応に努めています。教育において、しつけと虐待の線引きはどこからと、考えられているのか。

答

親がしつけども、子ども自身が身体的、精神的、心理的に苦痛を感じれば、虐待に当たる可能性があります。

問

虐待をしたとか虐待の可能性がある親権者、保護者には、どのような対応、指導を行うのか。

答

虐待に至ったケースには、複雑な家庭環境など、様々な要因があります。児童相談所を含めた関係機関で協議し、子ども未来課のケースワーカー等が保護者との定期的な面談を行うことで、子育てへの不安を解消する取組により、再発防止に努めています。

総合グラウンド構想と当市の財政状況について

問

スポーツの振興と将来ある子ども達のために、市民の皆さんが使える総合グラウンド整備は、必要不可欠であると考えます。政策の「あれもこれも」から「あれかこれか」を踏まえて何う。将来に向けた当市の財政計画の健全化は。

答

財政状況は健全な数値を示していますが、特に建設事業については、中長期的な視点に立った事業展開を図る必要が、年を追うごとに、より厳しく求められていると、考えています。

問

当市の屋外運動施設の現状についての考えは。

答

本市の第六次総合計画策定に当たっての、市民意識調査の結果では、本市の屋外運動施設について、必ずしも満足度が高いとは言えない状況であり、今後、満足度を上げるような取組が必要だと、考えています。

市長よ、チャレンジ精神を抱け



星野 充生

日本共産党



問

デマンド交通整備がなかなか進んでいない状況に対して、市長の考えを問う。

答

地域公共交通会議の皆様からのご意見を丁寧に向いながら進めていきたいと考えています。

問

事業が1年、2年と延びれば、高齢者も1年、2年と年齢を重ね、昨日できたことが今日になつたらできなくなってしまうことも多くある。悠長なことは言っていられない。デマンド交通実現までの間、近年の猛暑を考え、まずは夏季限定でもよいので、高齢者移動支援としてのバス・タクシー利用の補助制度はできないか。

答

さらに研究が必要になつてくるものと思います。

問

何かを提案しても、「先進事例を研究して検討」と答える。研究も大事だが産婦人科医誘致に関しては、もう10年かけている。10年もかけたら、失敗を恐れているのではないのかと感じる。ぜひ、現状から一歩踏み出すチャレンジ精神を見せていただきたい。

答

市長の産婦人科医誘致に関する意気込みを問う。

答

ただチャレンジといっても無謀なチャレンジをした場合、結果の責任を取らなくてはなりません。しっかりとできることからというところで、他市の事例なども含めて、ハード面、ソフト面ともに今後もあらゆる方法について、可能性を検討していきたい

と考えています。

子どもにはお金の心配なく教育を受けられる環境を

問

今年度は、2学期以降、学校給食費を半額としたが、来年度以降が不透明なまま。市内で全校生徒に無償とする場合は、市財政の1%で可能である。半額なら0.5%で賄える。来年度以降も、半額措置が続けられないか。

答

国の物価高騰に対する支援措置など、国の動向を注視します。

問

駅前通りと中山道の交差点は、どんな姿になるのか。

答

4方向からの右折帯の設置、歩道の整備による信号待ちをする歩行者のたまり場の確保、電線共同溝による無電柱化を図ります。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

東口整備の進捗について



加藤ただし

政和会



問 駅前広場の用地交渉の状況だが、令和5年度は何回話し合いをしたか伺う。

答 今年度は、21回です。

問 用地取得が完了した後の造成工事は、どの程度必要なのか。おおむね3年から4年を要します。

答 最終完了年度の予定はいつか伺う。埼玉県と事業計画の延長について調整をしています。

問 今回3回目の延長だが、最後の延長と比べてよいか伺う。

答 完了年度をお示しするのは、現在は難しい状況です。

問 中山道拡幅の用地交渉の状況について、伺う。

答 中山道拡幅の用地交渉の状況について、商店会連合会に伝え

であるのか。
答 街路灯組合、各商店会へ伝えていません。

問 今後どのような調整を進めるのか。資料の準備を進めています。

問 健康維持増進のための歯の大切さについて

答 フッ化物洗口の埼玉県取組について、伺う。

問 ナメル質が強化され歯を強くし、再石灰化を助け、修復を促進し、細菌の働きを抑え、酸を抑制することです。

答 県は、子どもの集団でのフッ化物洗口の実施を推奨しています。

問 新潟県は、89%の実施率で、全国と比較すると、1人平均虫歯本数は半分以下である。積極的にやるべきと考えるが、如何か。

答 課題と効果を検証し、検討します。

メイン連絡橋の階段部分にエレベーターを



浦田 充

ともに生きる会



問 大宮駅西口は、追加でエレベーターを設置した。それができない理由は何か。

答 既に設置されているエレベーターで、ロータリー内のバス停などを利用でき、商業施設にも円滑にアクセス可能であるからです。大宮駅は、デッキが桶川の15倍くらいあり、公共交通機関へ乗降するところに3台設置しています。

問 産前産後の家庭への対象拡大ができないか、伺う。

答 集積所へごみを出せないご家庭があった場合は、遠慮なくご相談いただければ、ケース・バイ・ケースで検討します。

問 期日前投票所拡充に向けた、過去1年間の取組を伺う。

答 課題を改めて確認し、衆議院の解散総選挙など急な選挙執行の場合、経費以外でも、人材の確保などが懸念さ

れ、これらの解消が困難です。

問 期日前投票所の拡充の効果は。

答 利用が増加傾向にあり、利便性の向上という観点では一定の効果があります。一方で、当日の投票率が下がっている傾向も見られ、投票率の向上という観点では、はっきりとした効果は認められていません。

問 期日前投票で、当日の投票率が下がるのは、市にとっては不利益なのか。

答 埼玉県知事選挙でも、桶川集会所は期日前投票率が高かったのですが、当日はかなり下がっている状況です。

問 代理投票の意思表示に対する支援と、その内容の周知は。

答 コミュニケーションボードを受付に常備しています。指さしで、意思表示ができません。ホームページ、選挙のお知らせのチラシにも記載して、周知します。

問 訪問収集サービスの充実を

答 訪問収集の利用状況を伺う。

問 本市の訪問収集は、ごみ集積所への持ち出しが困難な要介護認定を受けている高齢者や、障害者のご家庭へ

答 課題と効果を検証し、検討します。

一般質問

一般質問の内容については、議員本人が編集したものです。

市長は病院の誘致を
考えているか



北村あやこ

ともに生きる会



問

今年1月、2月の市民意識調査では、桶川の住みにくさの理由の1位が、道路の整備と医療機関が充実していない事だった。病院や産婦人科の誘致の方向性を計画すべきではないか。

答

医療機関の充実希望度の割合が高い結果は承知し、必要性は私も認識しています。現在、誘致に必要な要素は何なのか。実現にどのような方法が考えられるのか、あらゆる方法について模索し続けている最中です。

問

桶川の高齢者は非常に住みにくいと感じている。南小利活用検討調査に、病院の検討を入れていただきたい。

答

可能性の一つとしてはあり得ると

市がものづくり大学に提出した文書

桶 第 26 号
令和 5 年 7 月 31 日

学校法人 ものづくり大学
学 長 岡 分 泰 雄

桶川市長 小野 友典

旧熊谷陸軍飛行学校桶川分校の復原整備工事について
「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分校復原整備」につきましては、貴学の御尽力により、本市文化財の復原がなされたことに深く感謝申し上げます。
その一方で、当該工事の進捗にあたりましては、当初の設計から様々な変更が生じておりますことから、復原整備された建物群の文化財としての価値について問題ないものと理解してよいのか、貴学の見解をお伺いします。
また、「旧熊谷陸軍飛行学校桶川分校復原整備」は、「官学連携」における大きな成果であると考えている一方、手続などに関する連携が不十分な部分もあったと認識しており、当市で調査した結果、別添のとおり要領の突合が難しい部分がございます。
今後の活用を踏まえた建物群の維持・管理を考え、これらの部分については経費なども賄えまじと整理し、引き継いでいきたいと考えておりますので、引き続き、関係者の協力をお願いするとともに、これらに関する説明をお願いいたします。

**飛行学校の問題
早期解決を**

問

市がものづくり大学に説明を求めた回答について、今後の見通しは。

答

7月31日付で市が発出をした文書です。今議会後の協議を約束しており、誠意ある対応をいただけると、考えています。

放課後児童クラブ
(休み中の昼食提供を)

問

給食の提供を望む保護者が多い。かつて、朝日小で独自に実施したと聞いている。

答

朝日小で実施できないか。前回の経験を踏まえ、試験的に今年度の実施を検討します。

問

その後、来年への実施を願いたい。実験結果の課題を整理し、給食ニーズが高まる夏休みまでには、実施できるように努めたいと思います。

放課後児童クラブ長期休業（夏休み等）
中の給食、来年夏より実施！



新島 光明

新風クラブ21



問

放課後児童クラブの長期休業（夏休み等）中の給食事業の実施について、3月議会に引き続き伺う。

答

6月28日付で、こども家庭庁が全国の自治体に向けて発した事務連絡「放課後児童クラブにおける食事の提供について」と、これまでの答弁を踏まえて、実施に向けたスケジューリング及び保護者やクラブ指導員等への配慮等について、伺う。

問

放課後児童クラブの長期休業中の給食事業は、給食ニーズが高まる来年度夏休みまでに実施したいと考えています。

答

また、事前に議員提案の「試験的実施」を、実績のある朝日クラブで、今年度中に行いたいと考えています。

問

実施に際しては、①保護者負担の軽減（新たな負担を求めない）②クラブ支援員の業務（子どもの見守り）への支障をきたさない。③その為の人員体制を整える。（昼食時の給食の受け渡し等のパート職員の配置）④実施に当たって保護者の意見を把握（聞く）する。⑤業者選定に際しては十分な検討等を行う。

答

また、シルバー人材センターで働く人の配分金決定には、最低賃金をどう参考にするのか伺う。

答

支給が可能となつた会計年度任用職員への勤め手当は、来年度から支給できるように、条例改正を進めます。支給対象者は、6月1日又は12月1日の基準日に在籍して、当該年度内に6か月以上任用され、週の標準的な勤務時間が15時間30分以上働く者です。約230人います。

問

市役所で働く会計年度任用職員の処遇改善！シルバー人材センターの配分金改定は10月より

また、シルバー人材センターで働く人の配分金決定には、最低賃金をどう参考にするのか伺う。

答 法改正により、支給が可能となつた会計年度任用職員への勤め手当は、来年度から支給できるように、条例改正を進めます。支給対象者は、6月1日又は12月1日の基準日に在籍して、当該年度内に6か月以上任用され、週の標準的な勤務時間が15時間30分以上働く者です。約230人います。

なお、賃金の処遇改善は、正規職員の給料表を基本とし、正規職員の給与改定に準じ、4月に遡って改定（後日差額支給）されます。

シルバー人材センターの配分金は、従来翌年4月から、最低賃金を考慮し、見直してきましたが、シルバー人材センターと協議し、今年からは、最低賃金改定に合わせて、10月から変更する予定です。

議員名の下にQRコードを掲載しました。スマートフォンなどのアプリで読み取り、各議員の一般質問を映像でご覧いただけます。

学校給食の無償化に向けて



佐藤 洋

新風クラブ21



問

私は、学校給食費の無償化は、あと2〜3年もすれば、国が率先して行うと思っ

要となります。

国は、閣議決定された「こども未来戦略方針」の中で、全国ベースでの学校給食の実態調査を行い、1年以内にその結果を公表するとしています。国の動向を注視しながら、考えていきます。

答

給食費の無償化は、市長の政治的判断の時期に

かすという佐藤議員の意見を否定しませんが、ある意味共鳴するところがあります。本市では、18歳までの医療費の無償化など、財政の許容する範囲で、独自の子育て支援策を行ってきました。

本市で学校給食費を無償化する場合、毎年、約2億7千万円の予算が必要

問

40年前から自校方式の給食で、桶川市ほど学校給食を先進的に

無いと

埼玉の先進地として、地元で安全で安心な野菜等を作りながら、オーガニック給食に取り組み必要があるのではないか。

答

オーガニック給食は、食材に有機

オーガニック給食へ

野菜等のいわゆるオーガニック食材を用いることにより、食育の推進や環境意識の向上につながるものと言われています。食育基本法に基づき策定された「第4次食育推進基本計画」において、環境と調和のとれた持続可能な食料生産と、その消費にも配慮した食育の推進を掲げており、その中で、学校給食での有機食品の利用について記載されています。

現在、本市では、オーガニック食材を学校給食に使用していませんが、その理由は、流通の少ないオーガニック食材を使用することが難しいことや、オーガニック食材の価格が、一般的な食材と比較して割高になることなどがあります。

オーガニック給食には、多くの課題があると捉えています。オーガニック給食を実施している事例について、調査研究を進めたいと考えています。

常任委員会の意見交換会について

市議会の常任委員会では、それぞれの所管事務に関する市内の団体と、意見交換会を実施しましたので、ご紹介します。



自主防災組織での防災対策の取組状況や課題 (6/29)



桶川市認定農業者協議会の現状と課題等について (6/28)

閉会中の委員会活動

総務常任委員会

7月13日・大阪府摂津市
「男女共同参画センターの取組について」

摂津市の特徴は、男女共同参画センターの行政的位置づけが市長直轄であり、市をあげての形態となっているところ。先進地と桶川市の間には、格差がありました。行政の位置づけをどうするのかが、市民の意見を聴取し、基本的な形から見直しが必要と感じました。

7月14日・大阪府伊丹市
「安全・安心見守りネットワーク事業について」

伊丹市は、「安全・安心」を都市ブランドとして「選ばれたまち」を目指しています。

そのため、市内に「安全・安心見守りカメラ」を設置し、認知症高齢者等を対象とした位置情報通知サービス「まちなかミマモルメ」を整備しました。

防犯対策としてのカメラ設置は有効である一方、

監視社会につながるという不安もあります。伊丹市は、条例を制定し、カメラの管理・運用について厳しく規定しています。

伊丹市は市の将来像を明確にし、その実現のために必要なことを市民に提示し、地域住民との意見交換を重ねて実施しています。住民の理解を得ることに力を注いだその姿勢は、見習うべきと感じました。

民生経済常任委員会

7月20日・富山県高岡市
「道の駅整備事業について」

道の駅「万葉の里高岡」は、平成18年4月にオープンし、今年で17年目を迎えました。国道8号線沿い能越自動車道高岡インターチェンジ入口西側にあり、観光情報の提供、高岡の歴史・文化等のPR、伝統工芸品や特産物の展示・販売を行っています。運営は、指定管理者が行っており、道の駅内の商品アイテムは2,000を

超え、富山県内一の品ぞろえを誇っています。「万葉の里高岡」では、市との連携のもと指定管理者の創意工夫が発揮されていきました。「道の駅（仮称）おけがわ」の施設運営においても、大いに参考になると感じました。

7月21日・富山県富山市
「富山市まちなか総合ケアセンターについて」

「まちなか総合ケアセンター」は、小学校跡地を活用した官民連携複合施設の中にある公共施設です。全国に先駆けて行っているお迎え型の病児保育室等、子育て支援については、大変魅力のあるものでした。

また、子育て支援のことでだけでなく、まちづくりの考え方についても学べました。小学校跡地の活用は、本市の課題であり、富山市の取組は参考になりました。

建設文教常任委員会

7月18日・新潟県新潟市
「新潟市のGIGAスクール構想について」

新潟市では、令和2年12月に全校にタブレット端末を配備しています。通信ネットワークの環境整備も令和3年3月に完了し、全校での本格的な活用をスタートしました。

新潟市では、「GIGAスクール構想推進ガイドライン」に基づいて系統的に施策の推進が行われています。例えば、学校の負担軽減のために、情報通信技術支援員の民間事業者への委託が行われています。さらに「GIGAスクール運営支援センター」を設置して、これも民間事業者が委託していることは、桶川市とは異なる点でした。

7月19日・新潟県燕市
「燕市中心市街地再生モデル事業について」

燕市では、まちづくり事業案を民間団体から募集し、民間連携体制で実施する事業に取り組んでいます。

令和3年度に「クロスロード宮町」事業が採択されました。シェアオフィスなど整備を進めるエリアで、老朽化した空き家の解体、空き店舗・空き地の活用を進めながら、新規店舗を誘致するほか、マルシェ等の多様なソフト事業を並行して実施すること、未来を担う若者が中心となり、新しい価値を創造するまちづくりを推進しています。

燕市が抱える人口減少や高齢化の進展、空き家や空き店舗の課題は、桶川市にも共通するものです。桶川市が抱える課題の解決にも民間連携体制は、重要であると感じました。

議会運営委員会

7月27日・新潟県柏崎市
「議会報告会、意見交換会等について」

柏崎市議会では、市民からの活発な意見を聞く場として意見交換会に重点を置いています。各常任委員会でテーマを決め

て、年2回開催した内容を取りまとめ、主に市政に関する重要な政策や課題に対し、執行部に提言書として提出しています。

7月28日・新潟県上越市
「議会報告会、意見交換会等について」

上越市議会では、これまで議会報告会と意見交換会を同時開催していましたが、参加者の高齢化・固定化等の課題があることから、様々な見直しを行っています。

令和5年度からは、「ご意見を聴く会」、「議員と気軽にトーク」、「議会報告会@」の3つのかたちでリニューアルしていきます。

議会報告会の課題は、桶川市と共通するものでした。上越市は、課題克服のために、議長を先頭に、様々な工夫を考え実践していました。

改善のために試行錯誤を重ねることこそ議会改革への着実な歩みであることを、今回の視察で学びました。

9月議会は、議員任期最後の定例会となりました。



桶川市議会のインターネット中継について

桶川市議会スマート中継

検索



議会インターネット中継は、市ホームページから市議会の議
会中継を検索いただくか、次の検索方法又はQRコードから
検索してください。



9月議会本会議傍聴者数
インターネット議会中継閲覧数

月日	傍聴者数	閲覧数
9/1	1	766
9/6	0	792
9/19	2	359
9/20	10	495
9/21	11	503
9/22	5	280
9/27	0	795
合計	29	3,990

声の市議会だより
点字版市議会だより のご利用を!

桶川市議会では、ボランティアの皆さんのご協力により

声の市議会だより (紅花の会)

点字版市議会だより (点字レモンの会)

を作成しています。

利用を希望される方は、議会事務局までご連絡ください。

TEL 786-3211 (代表)

788-4963・4964 (直通)

編集後記

39.3%。これは、4年前の桶川市議会議員一般選挙の投票率です。過去五回の一般選挙で最低でした。市政への市民参加の第一歩が投票行動で、民主主義の原点です。

議会だより編集委員会は、議会活動をわかりやすく、正確にお伝えするよう心掛けてきました。市政に関心を抱いていただけの機会として重視してきたからです。市議会議員選挙が間近です。市政について、旺盛に話し合い、「みんなで投票にしよう」と合言葉に、お誘いあわせてお出かけ下さい。

(坂本)

議会だより編集委員会

委員長 岡野千枝子
副委員長 山中敏正
委員 坂本敏治
委員 北村あやこ
委員 仲又清美
委員 にいつま亮
委員 江森誠一